

事務事業名	市内主要古墳保護活用事業		会計	一般会計				
			事業種別	政策	開始	20	終了	28
課等名	生涯学習・スポーツ課	係等名	文化財保護第1係					
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
	施策	63	地域資産の保存・継承					

目的	対象(誰・何を)	前方後円墳をはじめとする、市内にある古墳				指標名及び単位		24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	全国に誇れる地域資産として後世に伝えていくとともに、人づくり・まちづくりに活かす				市内古墳数(基)		523
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承されている地域資産の数(累計)						

目標	種別	指標名及び単位	24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	古墳見学会・学習会の開催回数(回)	15	14	15	20	
	成果指標	史跡指定等保存活用とすべきとした古墳数(基)	31	31	31	31	
	定性目標						

事業概要

・飯田市には23基の前方後円墳をはじめとして多くの古墳が残っており、古墳時代の長野県における中核的な地域である。こうした背景には、当地域が馬生産に携わり、わが国の政治経済上における重要な位置を占める地域として当時の中央政権との強いつながりがあったことがわかっており、全国的にも注目されている。

・本事業は、重要な地域の文化遺産である飯田の古墳の、将来的な保護(保存活用)を図ることを目的としている。その方策として、以下のような事業展開を行う。①市内主要古墳の総合的な価値を明らかにし、古墳の適切な保存のための方策として国史跡指定を目指す、②古墳を核とした人づくり・まちづくりに活かせるよう地域との連携を深め活用策を検討する、③市民の理解が進むよう積極的な情報発信を行う。

【25年度事務事業名を飯田古墳群保護活用事業に変更】

24年度事業内容	事業内容		名称		活動指標	
	1 古墳の非破壊調査(レーダー探査)・確認調査 2 史跡指定に向けての文化庁・県教委視察及び調整等 3 史跡指定及び将来的な保存活用に関わる基本計画の策定及び庁内調整等 4 外部研究者による古墳の調査指導実施 5 地域との協働による学習会・保護活動・検討会等の実施 6 市内外への情報発信	1 調査対象古墳数 2 実施回数 3 実施回数 4 実施回数 5 実施回数 6 実施回数	1 3基 2 2回 3 1回 4 5回 5 14回 6 9回			

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	0	0	0	0	
国庫支出金	0	0			
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	0	0		0	
人件費計(千円)②	10,728		7,152		
正規職員所要時間	3,000		2,000		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	10,728	0	7,152	0	

事業内容・目標達成状況の振り返り

座光寺地区からの要望もあった高岡1号古墳の周溝の確認調査、および羽場獅子塚古墳の範囲確認調査を実施し、将来的な保護を考える上で基本となる調査成果を得ることができた。

改革改善の考え方

①問題点 平成17年度から実施してきた市内主要古墳の調査研究により、飯田古墳群の歴史的価値が明らかになってきたが、情報発信が十分でなかったため、地域の文化遺産としての重要性がまだまだ市民に認識されていない。

②改革提案 主要な古墳が存在する地区を中心として、地域の要望に合わせた講座・講演会等の情報発信を図る。古墳の認知度を高め、有効な活用を図るために、表示や案内等を工夫する。